

授業科目

言語発達学

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>
 言語発達の前言語期から言語期への過程を、発達の諸側面との関連において学ぶ。
 前言語期では、音声言語の基盤である音・音声およびコミュニケーションの発達過程について
 言語期では、“ことばはいかに獲得されるか”というテーマで、初期言語獲得過程について学習する。
 さらに、幼児期全般の発達に関して概観する。

- <学習目標>
- ・ 健常児の言語発達は、言語発達障害の基盤であり、言語臨床の評価および指導のために必須である。すべてが基礎知識として必要であるため、確実に学習し理解する。
 - ・ 視聴覚機器を使用することで、発達の実際を確認しながら、各々が具体的で、体験的な学習となるよう努める。
 - ・ 基礎的な知識として、専門用語を理解し、使用できること。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	言語発達とその関連領域		講義
2	乳児のコミュニケーション(1)	全体発達の一領域としての言語を理解する	講義・視聴覚機器使用
3	乳児のコミュニケーション(2)	養育者との関係性を中心として。視ること	講義・視聴覚機器使用
4	音・音声の発達(1)	養育者との関係性を中心として。聴くこと	講義・視聴覚機器使用
5	音・音声の発達(2)	声から音声への過程	講義・視聴覚機器使用・レポート出題
6	音韻発達	音声からことばへの過程	講義
7	幼児期全般の発達・総括	初期言語獲得(移行期の過程)	講義
		幼児期の言語発達と読み書き	
		言語発達発達研究の紹介	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	入門コース	ことばの発達と障害1	ことばの発達入門	秦野悦子編 大修館書店 2001年
その他の資料	講義では全てプリント使用			

【評価方法】 小レポート・小テスト 試験	【履修上の留意点】
----------------------------	-----------